

審議会等の会議結果報告

1. 会 議 名	平成 30 年度第 2 回松阪市総合教育会議
2. 開 催 日 時	平成 31 年 3 月 19 日（火） 15 時 00 分～16 時 00 分
3. 開 催 場 所	松阪市役所 第 2 分館 教育委員会室
4. 出席者氏名	出席委員 竹上真人市長、中田雅喜教育長、竹内一教育長職務代理者、長島彩子教育委員、岡田光生教育委員、長井雅彦教育委員 事務局 加藤企画振興部長、刀根企画振興部経営企画課長、川上経営企画課政策経営係長、松名瀬教育委員会事務局長、伊藤教育委員会事務局次長、青木教育総務担当参事兼教育総務課長事務取扱、橋本教育総務課長補佐、山口国体推進担当参事兼国体推進室長事務取扱、久世飯南飯高教育環境連携担当参事兼西部教育事務所長事務取扱、有瀧学校教育課長、萬濃学校支援課長、松林スポーツ課長、水本スポーツ施設管理担当監兼管理係長事務取扱、上山給食管理課長、中村北部教育事務所長
5. 公開及び非公開	公 開
6. 傍 聴 者 数	1 人（内、報道関係 1 社）
7. 担 当	松阪市企画振興部 経営企画課 TEL 0598-53-4319 FAX 0598-22-1377 e-mail kei.div@city.matsusaka.mie.jp

・協議事項

- 1) 夏休みの過ごし方について
- 2) 小学生の服装等について

◎内容録は別添

平成 30 年度 第 2 回松阪市総合教育会議議事録

開催日時 平成 31 年 3 月 19 日（火） 15 時 00 分～16 時 00 分

開催場所 松阪市役所 第 2 分館 教育委員会室

出席委員 竹上真人市長、中田雅喜教育長、竹内一教育長職務代理者、長島彩子教育委員、岡田光生教育委員、長井雅彦教育委員

事務局 加藤企画振興部長、刀根企画振興部経営企画課長、川上経営企画課政策経営係長、松名瀬教育委員会事務局長、伊藤教育委員会事務局次長、青木教育総務担当参事兼教育総務課長事務取扱、橋本教育総務課長補佐、山口国体推進担当参事兼国体推進室長事務取扱、久世飯南飯高教育環境連携担当参事兼西部教育事務所長事務取扱、有瀧学校教育課長、萬濃学校支援課長、松林スポーツ課長、水本スポーツ施設管理担当監兼管理係長事務取扱、上山給食管理課長、中村北部教育事務所長

傍聴者 1 人（内、報道関係 1 社）

1. 市長あいさつ

お忙しい中、お集まりをいただきありがとうございます。

本日の議題は 2 点ございます。時間も限られておりますので、早速に始めさせていただきます。

よろしく申し上げます。

【松阪市総合教育会議設置要綱第 4 条に基づき、竹上市長が議長となり進行】

市長)

では、会議を進めてまいります。協議事項の順番を変えさせていただきます。

1. 小学生の服装等について

市長)

では、事項 2 の小学生の服装等についてですが、特に卒業式の服装についてご議論いただきたいと思っております。

最近の卒業式には、袴の子もいればスポーツ少年団のユニホームで来る子もいます。

母子寡婦の団体から、華美な服装は私たちには対応できないというお話をいただいています。

答えは出ないかも分かりませんが、皆さんの思うところ、学校としてどう対応していくべきかなど、ご意見をいただければと思います。

教育長、補足があればお願いします。

教育長)

卒業式も一つの学びの場である。

華美になることや経済的負担など、そういったことも含めてご意見をいただければと思う。

委員)

小学校の卒業式でも袴が増えているということを聞いた。

今年、行かせていただいた卒業式では、86人の内21人が袴であった。特に派手とは感じなかったが、華美の定義は難しいと思う。

小学校に制服が無い中で、経済的な負担だけでなく、トイレに行けず体調不良を訴える児童、つまずいて怪我をしたなどの事案も聞いている。規制は難しいと思うが、自粛をお願いすることができないものか。

晴れ舞台であり、保護者の意見もあると思う。そういうことも含めて議論が必要だと思う。

委員)

保護者の意見としては、上の子は袴で出席したので、下の子にも上の子と同じように袴を着せてあげたいと思っている。

和服は日本人としては正装なので、和服自体に反対はしない。卒業を機に、小学校で頑張ってきたスポーツのユニホームで出席する気持ちも分かる。

今日の卒業式では、18人が和服であった。

華美かどうかは、女の子が化粧をするかしないかではないか。どこを基準にするかが難しいと思う。

在校生は、卒業生を見て自分が卒業するときも着たいと思うのではないか。どこで線を引くかは難しいと思う。

委員)

男の子も色が派手じゃないから華美ではないと思えるだけで、服装にはお金をかけている。

できなかつた子どもに対して周りがどう思うか。

この場でも意見が分かれるので、まとめるのは難しいのではないか。

委員)

今年行った卒業式では、52 人の内 8 人が袴であった。ドレスアップしている子もいたが、特に違和感はなかった。校長先生や担任も袴であった。

羽織・袴は日本の伝統文化であり、保護者も和服で列席されていた。礼節のある部分であれば問題ないと思う。

経済的に着たいけど着れない子もいる。それによって規制するのはどうかと思う。

委員)

あきらかにおかしいと思うところは規制の対象になると思うが、礼節を守ってどこまでのラインとするかではないか。

委員)

昨年の卒業式には、コスプレをしている子がいた。

委員)

人気アニメの服装で出席するのは問題ではないか。

委員)

3 年前に同じ学校の卒業式に出席したが、3 年前の先輩と同じような服装の児童がいた。大学では袴が定着してきているし、女性教員もお祝いの意味も込めてきているのではないか。

流れもあると思うので、何かのきっかけで変わっていくのではないか。

委員)

ハロウィンのように、あの子もやってるから自分もやるという風潮では困ると思う。

市長)

中学校と看護学校の卒業式に参加したが、中学生は制服で、大変良い式であった。

看護学校は、男子はスーツ、女子はほとんどが袴だった。最近の女子大生は袴が一般的になっている。小学校も有りなのかと思うところがある。

教育長)

できなかった子にどんな配慮があるか、教育活動なので教師として見過ごせない部分である。経済学的にも、社会的にも、この卒業式で子どもたちにどんなことを学んでほしいかを考えるときに、教育の観点からどういう視点で卒業式を迎えればいいのか、卒業式でどんなことを学ばせたいのか、その中で子どもたちは何を学んで次へつなげていくのか、学校でも保護者を交えてしっかり議論をする時期に来たのかもしれない。

市長)

来年度に向けて、こちらで強制はできないので、学校で考えてもらうように投げかけてほしい。

2. 夏休みの過ごし方について

市長)

今までと変わるのが、エアコンが設置されることである。また、2020年度には英語教育が導入され、事業時間が増えると聞いている。他県では夏休みをずらしているところもある。

資料を用意してあるので、事務局から説明をお願いします。

◎学校教育課、学校支援課から資料説明

市長)

地区水泳については、36校のうち十数校で議題に上がったが、意見が分かれた。全部実施できた学校と、まったく実施できなかった学校があった。

地区水泳の実施をPTAに判断させるのはどうか、との意見があった。ある程度の目安を行政から示してほしいという意見である。

それとは逆の意見で、仮に行政が目安を示したら、安全の上に安全を重ねるので、実施できないような目安になるという意見があった。

この件に関しては、教育委員会で議論することとして持ち帰ってきている。

本日、ある程度の結論を出したい。目安を示すのか示さないのか、示すならどんなものを示すのか、それとも、示さず学校の判断に任せるのか、難しいと思うが皆さんのご意見を聞きたい。

教育長)

これまでの夏休みの補習は、エアコンが設置されている図書室やパソコンルームを取り合っていた。

各教室にエアコンが設置されるので、ある一定期間、夏の暑い時期に家で閉じこもるのではなく、学校で補修や教育活動ができる環境になった。

新しい学習指導要領の大きな目玉に、「開かれたカリキュラム」があり、特にカリキュラムマネジメントという観点で、子どもの学びの時間や場所、期間など、学校長が見直すことができるようになった。夏休みを効果的に学びの時間として使い、その分、秋休みを取るなどの工夫に対して支援していきたい。そういったあたりからもご意見をいただければと思う。

委員)

地区水泳に関しては、様々な意見があるが実施してほしいと思う。

教育委員会や行政に任せるのではなく、何のために実施しているのか、子どものために実施していること、誰が主催しているのかをPTAで考えてもらいたい。子どもたちのために保護者が実施していることを忘れないでほしい。何のためにプールを解放しているのか考えてほしい。

監視当番に出たくないから実施しないでほしいという、保護者側の気持ちで実施したくないという意見が多いと思う。誰が主催者なのか知らない保護者が多いと思う。

エアコンが設置されたら、夏休みを短縮できないか。分散してもいいと思うが、専業主婦の家庭が減ってきているので、昔のように夏休みを子どもと過ごす家庭は減ってきているのではないか。

小学校は、寒い時期にプールの授業がある。特に大型校は6月の初旬からプールに入るので、凍えながら入っている。それなら、もう少し夏休みを遅らせて、プールの時期をもっと暑い時期にできないか。休み自体の日数を変えるのではなく、ずらす方法も検討してはどうか。

中学生は、補習授業を考えてみてはどうか。

委員)

地区水泳に関しては、この場で規制するのは難しい。

各小学校で実施の可否を判断しているが、事故が起こっていないということは、この判断がベストであったということではないか。

夏休みを短くするのは難しくないか。

委員)

せっかくエアコンが設置されるので、補修や体験学習を実施し、有効的に活用すればいいのではないか。一方で、夏休みはキャリア教育やボランティア活動の時期でもあるので、積極的に実施していただきたい。

地区水泳については、各校のPTAで考えてもらうべきではないか。

市長)

実態は、その日の朝に PTA 会長が決断している。それが、すごく重責になっている。相当な苦勞である。

委員)

粥見の温度計で判断していると思うが、気温の高い地域の温度で判断している。実施回数ゼロと全部実施の差は何か。

基準に基づいて判断しているのはわかるが、子どものために極力実施できるような基準や好事例を情報共有してはどうか。

企業経営の立場から言うと、うちの会社では夏休みにファミリーデーを設けている。従業員の家族を会社に呼び、どんなことをしているのか体験してもらっている。そのように体験できる企業が松阪にはあるのではないか。

学校だけではなく、地域と一体となった企画ができるのではないか。

市長)

教育委員会からは目安を示さない方向でいいのではないかという意見が多かった。

教育委員会が示すとガチガチになるから数字は示さない。その代わりに、好事例を各校へ展開することとしたい。

教育長)

教育委員会からは、PTA 会長に過度な負担を負わせないように、また、好事例をもう少し詳しく提供していきたい。

市長)

夏休みの過ごし方については、中学校には補習をとという意見が多かった。

委員)

普段の授業ではなく、先生とのコミュニケーションも取れるのではないか。

また、地域の人も活用しながら取り組んではどうか。

市長)

エアコンを設置することで、より学校が開放型になる。そのなかで、学力向上をめざしていったらどうかと思う。

一応の方向性はこういった形で進めていきたい。

教育長)

夏休みは、子どもが地域で過ごし、地域で学ぶ場である。

企業の協力や、コミュニティ・スクールで校舎を活用するなど、地域で学ぶことで地域への愛着が生まれると思う。そういう意味で夏休みを有効に過ごせるように、皆さんからいただいた意見を基に発信していきたい。

市長)

では、その他の項について、事務局から何かありますか。

事務局)

次年度の開催について事務局よりお知らせします。

次年度も引き続き開催を予定しておりますが、開催日は未定でございます。

開催日が決まりましたら、おって連絡させていただきます。よろしくお願いいたします。

市長)

長時間にわたりありがとうございました。昨年からの懸案事項について、ある程度方向付けがされたと思います。本日いただいたご意見を参考にさせていただきます。では、これにて平成30年度第2回松阪市総合教育会議を閉会させていただきます。

本日は、誠にありがとうございました。

《16時00分 終了》